

看護学部 看護学科							
氏名	松尾 真規子	職名	准教授	専攻分野	看護学	学位名	修士（看護学・カウンセリング）
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p>【論文】</p> <p>1. 「新生児期の家庭訪問において養育者が受けとめた保健師の言動と援助要請との関連」『母性衛生』62巻4号、2022年（共著）</p> <p>【著書】</p> <p>1. 『看護師のための精神科でのコミュニケーションとケア』ナツメ社、2021年8月（共著）</p> <p>2. 『精神看護学実習ハンドブック』中央法規、2022年9月（共著）</p> <p>【学会発表】</p> <p>1. 「新生児期の家庭訪問における保健師の言動と養育者の援助要請との関連」、日本母性衛生学会第61回学術集会、2020年10月、オンライン</p>							
最近5年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p>【論文】</p> <p>1. 「チーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツメソッド-～group for all～多職種協働の時代に-」『集団精神療法』35巻2号、2019年12月（共著）</p> <p>2. 「スクールカウンセラーによるチーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メソッド」『集団精神療法』36巻第1号、2020年6月（共著）</p> <p>3. 「新生児期の家庭訪問において養育者が受けとめた保健師の言動と援助要請との関連」『母性衛生』62巻4号、2022年（共著）</p> <p>【著書】</p> <p>1. 『看護師のための精神科でのコミュニケーションとケア』ナツメ社、2021年8月（共著）</p> <p>2. 『精神看護学実習ハンドブック』中央法規、2022年9月（共著）</p> <p>【学会発表】</p> <p>1. 「学校教育領域に芽吹くグループメソッド-～group for all～多職種協働の時代に-」、日本集団精神療法学会第37回大会、2020年3月、オンライン</p> <p>2. 「新生児期の家庭訪問における保健師の言動と養育者の援助要請との関連」、日本母性衛生学会第61回学術集会、2020年10月、オンライン</p> <p>3. 「オンライングループの実践と課題-学校・教育領域職員の学びと憩いの場から-」、日本集団精神療法学会第38回大会、2021年3月、オンライン</p> <p>4. 「学校〇グループ～外側もしくはスケープゴートにされし人から見える世界～」、日本集団精神療法学会第40回大会、2023年3月、愛知</p>							